



石見幼稚園 地域だより



令和5年1月20日号
浜田市立石見幼稚園

鏡開きをしました（11日）

今年も鏡開きの行事を開くことができました。最初に鏡餅についての紙芝居を読んでもらい、年神様のパワーが詰まった鏡餅をいただいて、この一年の無病息災を願う伝統的な行事であることを分かりやすく話してもらいました。

鏡餅は包丁で切ったりせず、木槌で叩いて割ります。年中児から順に10回ずつ叩き、鏡餅を割ります。木槌を両手で持って力いっぱい叩く人もいれば、年神様のことを思ってか、優しく遠慮がちに叩く人もいました。無事に割られた鏡餅は各家庭に持ち帰って味わってもらいました。

鏡餅と一緒にしめ縄も紹介しました。しかし、最近ではしめ縄を飾られている家庭が少ないのか、知らない人も多くてびっくりしました。雑煮も食べたことがない人もいました。しかし、年末に園長から習った、餅つきに使う道具の名前「きね」「うす」は忘れずに覚えていました。日本の伝統的な行事をこれからも続けていきたいと思えます。



久しぶりの3園交流に行ってきました！（17日）

1月とは思えないほど、とても穏やかな天候の下、園庭でサッカーを始める人や、砂場でごちそう作りや穴掘りに夢中になる人、ブランコや滑り台、鉄棒、三輪車、スケーターと好きな遊具へ向かう人、いつもよりも多い仲間の中で遊ぶ様子はとても活気がありました。そして、幼稚園近くの踏切の音が「カンカンカン」と鳴るたびに築山に駆け上り、「どっちから列車が来るんだろうね？」「あっち！」「私はこっちと思う！」と興味津々で待っていました。列車の運転手さんやお客さんに手を振り返してもらい大満足な笑顔でした。



石見幼稚園の歴史その⑧

～お家からグループでの徒歩通園が当たり前だったその昔～

現在、石見幼稚園の子ども達は石見小学校・三階小学校・松原小学校 国府小学校区域と広範囲から通園しています。ほとんどの家庭が途中まで自家用車を使用、園の付近から親子で仲良く歩いて通園してきます。

平成の初めころまでは2年課程でしたので年長児と年中児のみで各地域で4～8人ずつのグループを組み、歩いて通園していました。その当時は、危険な箇所（横断歩道など）に保護者が当番で立ち、園児の安全な通園を見守るといった「ポイント立ち」といったPTA活動もありました。



コロナ禍前までは、浜田警察署の見学にも出かけ、交通ルールをみこびー君から教わることもありました。



「びよびよの会（未就園児の会）」修了式をしました（19日）

石見幼稚園の最後の未就園児の会を行いました。今年度のびよびよの会員さんは6家族の登録数ではありましたが、毎回、幼稚園の環境の中で安心して過ごし、園児や職員とも触れ合っていただきました。

19日には、修了式ということで可愛い賞状とお菓子袋に添えて、園児や職員が折った折り紙のコマやお花をプレゼントしました。

次年度は浜田市立浜田幼稚園でも未就園児の会が行われます。5月から始まりますので、楽しみに待っててください。



園の植物等の紹介・・・ 門扉近くのマンリョウが真っ赤な実をつけています。12月に子ども達が植えたチューリップも顔を出し始めました。10月終わりに植えたブロッコリーの苗や、蕪とほうれん草も元気に育ち、蕪は収穫し、味噌汁にいただきました。



マンリョウ



ミニシラメン・ハボタン



スイセン



サクラソウ



蕪



ブロッコリー